

第8章 文化財保護

第1節 文化財の指定と調査・保護

第2節 東北歴史博物館

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

第 1 節 文化財の指定と調査・保護

1 指定文化財

県内の国及び県指定の文化財は、次のとおりである。

第 8 - 1 表 平成17年度末文化財指定件数

区 分	国	県	登録文化財	区 分	国	県	登録文化財
建 造 物	19	37	61	無形民俗文化財	7	42	
彫 刻	8	26		有形民俗文化財	0	4	
絵画・書跡典籍	7	31		史 跡	33	15	
工 芸 品	11	22		名 勝	4	2	
古文書・考古資料	9	6		史跡及び名勝	1	0	
歴 史 資 料	2	11	1	天然記念物	27	26	
無 形 文 化 財	1	3		計	129	225	62

2 文化財の調査・保護

(1) 埋蔵文化財の保護及び発掘調査等

ア 保護体制の整備

文化財保護体制の基礎は市町村にあるとの認識のもとに、市町村の体制の充実を図るため、次のような事業を実施した。

市町村文化財担当者会議・研修会

平成17年6月9日

場 所 東北歴史博物館

参加者 7 教育事務所・45市町村文化財担当者

イ 文化財保護管理指導事業

文化財保護地区指導員を県下45市町村に各1人（仙台市：4人、加美町：3人、栗原市：10人、登米市：9人、石巻市7人）委嘱し、国指定の重要文化財（建造物）、史跡、名勝、天然記念物及び主なる埋蔵文化財包蔵地についてパトロールを実施し、関連して以下の研修会を開催した。この事業は昭和49年度から国庫補助事業として実施しているものである。

（ア）宮城県文化財保護地区指導員会議

平成17年6月9日

場 所 東北歴史博物館

参加者 7 教育事務所・45市町村文化財担当者・73文化財保護地区指導員

（イ）市町村文化財担当者及び文化財保護地区指導員研修講座

月 日 平成17年11月30日

会 場 多賀城市役所 6 階601・602会議室

研修内容

「市川橋遺跡出土『修理所』『馬庭』名木簡について」

講 師 鈴木 孝行（多賀城市埋蔵文化財調査センター研究員）

「文化財を活かしたまちづくり - 共生の思想」

講 師 高倉 敏明（多賀城市教育委員会教育部文化財課長）

参 加 者 7 教育事務所・44市町村教育委員会文化財担当者・73文化財保護地区指導員・文化財保護委員

ウ 基礎資料の整備

埋蔵文化財関係の基礎資料を整備し、その活用を図るため、遺跡台帳の整備充実に努めた。

エ 発掘調査

（ア）H17年度：埋蔵文化財発掘届等の件数

（第 8 - 2 表参照）

調査のための発掘届（法92条第1項） 3件
土木工事に伴う届（法93条第1項） 743件

土木工事に伴う通知（法94条第1項） 180件
遺跡発見の届（法96条第1項） 0件
遺跡発見の通知（法97条第1項） 8件
教育委員会の発掘調査（法99条第1項） 284件
合計 1,218件

（イ）国庫補助事業による詳細分布調査（県教委が主体もしくはは担当した調査）（第 8 - 3 表参照）

（ウ）受託事業による調査（第 8 - 3 表参照）

（エ）執行委任事業による調査（第 8 - 3 表参照）

（オ）その他の調査（第 8 - 3 表参照）

第 8 - 2 表 埋蔵文化財発掘届等件数

No.	市 町 村 名	92	93	94	96	97	99	計
1	仙 台 市		353	36			93	482
大河原教育事務所								
2	白 石 市		38	22		2	23	85
3	角 田 市		2	2			5	9
4	七ヶ宿町		1	2			2	5
5	蔵 王 町		10	2			12	24
6	大 河 原 町		3					3
7	村 田 町	1	2	2				5
8	柴 田 町		4	1			2	7
9	川 崎 町		2	1			3	6
10	丸 森 町		3	3			5	11
	計	1	65	35	0	2	52	155
仙台教育事務所								
11	塩 竈 市		1					1
12	名 取 市		40	3			17	60
13	亘 理 町		6				8	14
14	山 元 町		8	2			1	11
15	岩 沼 市	1	4	4		2	1	12
16	松 島 町		5	3			5	13
17	多 賀 城 市		91	9			28	128
18	七ヶ浜町							0
19	利 府 町		7	1			1	9
20	大 和 町		10	4			3	17
21	大 郷 町							0
22	富 谷 町		4	2			2	8
23	大 衡 村		3	1			2	6
	計	1	179	29	0	2	68	279
古川教育事務所								
24	古 川 市		17	5			6	28
25	加 美 町		4	2			7	13
26	色 麻 町			2				2
27	松 山 町		1	1				2
28	三 本 木 町							0
29	鹿 島 台 町						3	3
30	岩 出 山 町		2	2				4
31	鳴 子 町							0
32	涌 谷 町		1	1				2
33	田 尻 町		22	25		1	13	61
34	小牛田町～H17.12.31		14	1			8	23
35	南郷町～H17.12.31							0
	美里町H18.1.1～		3	2			1	6
	計	0	64	41	0	1	38	144

No.	市 町 村 名	92	93	94	96	97	99	計
栗原教育事務所								
36	栗 原 市	1	61	27		2	15	106
	計	1	61	27	0	2	15	106
登米教育事務所								
37	登 米 市		3	3			3	9
	計	0	3	3	0	0	3	9
石巻教育事務所								
38	石 巻 市		4	4			2	10
39	東 松 島 市		11	4		1	9	25
40	女 川 町		1				2	3
	計	0	16	8	0	1	13	38
志津川教育事務所								
41	気 仙 沼 市		1					1
42	志津川町～H17.9.30							0
43	本 吉 町		1					1
44	唐 桑 町							0
45	歌津町～H17.9.30						1	1
	南三陸町H17.10.1～			1			1	2
	計	0	2	1	0	0	2	5
	合計	3	743	180	0	8	284	1,218

第8 - 3表

発掘調査遺跡一覧

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積㎡	調査期間	主な発見遺構
受託契約による調査								
1	三陸縦貫自動車道建設	国土交通省東北地方整備局	角山遺跡	石巻市	発掘調査	1,400	4月25日～5月9日	古代の竪穴住居跡1軒他土壇・溝、ピット群など。
2	三陸縦貫自動車道建設	国土交通省東北地方整備局	太田窯跡	石巻市	発掘調査	2,900	5月9日～6月13日 10月12日～11月30日	古代の竪穴住居跡13軒、遺物包含層2カ所、掘立柱建物跡1棟、井戸1基など。
3	三陸縦貫自動車道建設	国土交通省東北地方整備局	山居遺跡	石巻市	発掘調査	1,500	6月7日～10月20日	縄文時代後期から晩期の遺物包含層、古代の竪穴住居跡9軒、竪穴状遺構5基、掘立柱建物跡4棟など。
4	三陸縦貫自動車道建設	国土交通省東北地方整備局	布目遺跡	登米市	確認調査	1,000	8月29日～8月31日	縄文時代とみられる落とし穴、古代の掘立柱建物跡、古代の遺物包含層など。
5	仙台北部道路建設	国土交通省東北地方整備局	菅ノ沢遺跡	富谷町	確認調査	300	11月7日～11月8日	古代以降の土壇、溝。
執行委任による調査								
1	仙台北部背後地区画整理	宮城県土木部 都市計画課	中野高柳遺跡	仙台市	発掘調査	2,900	4月18日～7月4日	調査担当、鎌倉時代から南北朝時代の屋敷跡、井戸跡、溝跡、道路側溝、湿地跡、江戸時代以降の井戸跡や墓地。中世の木製鞍。
2	公園整備事業	大河原地方振興 事務所	上楯城跡	川崎町	確認調査	385	4月18日～5月27日	調査担当、中世の館跡、土塁跡5条、空堀跡5条、平場2、門跡1、土橋1、通路跡1、溝2条、小柄、石臼、土師器、縄文土器、石器など。
3	県道泉塩線改良工事	宮城県仙台東 土木事務所	市川橋遺跡	多賀城市	発掘調査 確認調査	1,445	10月3日～11月30日	調査担当、古代以降の区画溝、奈良時代～平安時代の道路跡1条の他、古墳時代から平安時代の河川跡、竪穴住居跡2軒、掘立柱建物。
国庫補助による調査								
1	重要遺跡確認調査	宮城県教育委員会	東山官衙遺跡 周辺地区	加美町	確認調査	143	6月6日～7月15日 11月21日～11月30日	調査担当、古代の土塁跡2条、堀跡1条、ピット1個、古代の須恵器、土師器、縄文土器など。
2	個人住宅	個人	小森遺跡	松島町	確認調査	20	7月14日	調査担当、平安時代の焼け面、遺物包含層、土師器、須恵器。
3	遺跡保存整備	松島町	雄鳥遺跡	松島町	確認調査	13	12月19日～12月21日	調査協力、蔵骨器（甕）を持つ中世墓3基、土壇2基、溝1条、骨片集中地点。
その他の調査（市町村協力及び調査担当）								
1	工場建設	フジ電子	一本柳遺跡	小牛田町	確認調査	300	4月7日～4月15日	調査協力、古代の土壇、円形周溝、中世の掘立柱建物跡、土壇、ピット、土師器、須恵器、中世陶器、銅銭など。
2	県営ほ場整備事業	古川地方振興事務所	壇の越遺跡	加美町	発掘調査	9,490	4月18日～11月24日	調査協力、古代の道路跡、材木列跡、溝跡、掘立柱建物跡、竪穴住居跡、土壇、ピット、河川跡、縄文石器集中区、古墳時代の竪穴住居跡など、土師器、須恵器、瓦、土製品、木簡、漆紙文書など。
3	町道改良工事	七ヶ宿町	吉沼遺跡 か	七ヶ宿町	確認調査	32	4月19日	調査担当、遺構・遺物の発見なし。
4	都市計画道路建設	小牛田町	化粧坂遺跡	小牛田町	確認調査	190	4月21日、12月14日	調査担当、古代の土壇、ピット。
5	交通安全施設等整備事業	大河原土木事務所	大森遺跡 か	川崎町	確認調査	20	4月26日	調査担当、遺構・遺物の発見なし。
6	県営ほ場整備事業	大河原地方振興事務所	鍛冶屋敷遺跡 ほか	蔵王町	発掘調査 確認調査	7,050	5月9日～7月21日	調査協力、近世の掘立柱建物跡7棟、溝15条、土壇9基、橋脚状遺構、ピット、陶磁器、中国産青磁、中世陶器、茶臼、古銭、鉄滓、木製品など。
7	駐車場整備	有限会社洗心庵	瑞巖寺境内 遺跡	松島町	確認調査	10	5月11日	調査担当、遺構の発見なし。近世陶器。
8	村道改良工事	大衡村	金谷遺跡	大衡村	確認調査	10	5月12日	調査担当、遺構・遺物の発見なし。
9	村道改良工事	大衡村	上深沢遺跡	大衡村	確認調査	10	5月12日	調査担当、遺構・遺物の発見なし。
10	配水池築造	歌津町	伊里前牧野 跡	歌津町	確認調査	80	5月17日	調査担当、遺構・遺物の発見なし。
11	資材置き場建設	株式会社加藤 建材工業	大橋貝塚	巨理町	確認調査	225	5月23日～5月24日	調査協力、時期不明の溝1条、古代の土師器、須恵器、貝、獣骨など。
12	陽徳院建て替え	瑞巖寺	瑞巖寺境内 遺跡	松島町	確認調査	50	6月16日、8月25日	調査担当、遺構の発見なし。古代の土師器。
13	共同住宅建設	個人	西館館跡	柴田町	確認調査	40	6月22日	調査担当、遺構・遺物の発見なし。
14	店舗建築	株式会社店舗開発	浦宿B遺跡	女川町	確認調査 発掘調査	685	7月7、8日、8月29日～9月14日	調査協力、縄文時代前期の遺物包含層、古代の竪穴住居跡、多量の縄文土器、石器、貝、魚骨、獣骨、土師器、須恵器。
15	個人住宅	個人	駒米遺跡	小牛田町	確認調査	5	7月13日	調査協力、遺物・遺構の発見なし。
16	学術調査	巨理町	史跡三十三間堂 官衙遺跡	巨理町	確認調査	800	7月19日～10月11日	調査協力、古代巨理郡衙郡庁院の調査。郡庁院北東・北西隅の建物の変遷や規模、東門が四脚門であることを解明。東門から東部官衙ブロックへの通路、区画南西部で櫓を検出。
17	県営ほ場整備事業	古川地方振興事務所	三本松遺跡	加美町	発掘調査	1,516	7月20日～11月15日	調査協力、縄文時代の竪穴住居跡6軒、土壇10数基、焼面21、土壇、土器集中、ピットなど、縄文土器、石器多数。
18	作業小屋建築ほか	個人	鷹の巣古墳群	白石市	確認調査	1,500	7月25日～8月25日 9月20日～21日	調査協力、2基で石室を検出。直刀。
19	鹿島台町国民健康保健病院再建事業	鹿島台町	東要害貝塚	鹿島台町	確認調査	57	8月1日、8月24日 12月13日、1月30日	調査担当、古代のピットなど。縄文土器、土師器。
20	町道改良工事	小牛田町	化粧坂遺跡	小牛田町	確認調査	50	8月23日	調査協力、遺構・遺物の発見なし。
21	個人住宅	個人	駒米遺跡	小牛田町	確認調査	10	8月23日	調査協力、遺構・遺物の発見なし。

22	学術調査	栗原市	史跡伊治城跡	栗原市	確認調査	190	8月29日～10月14日	調査協力、古代の城柵跡。外郭南辺区画施設の調査。整地層、掘立柱建物跡など。
23	宅地造成	個人	大畑遺跡	白石市	確認調査	100	9月26日～9月27日	調査協力、遺構の発見なし。古代の土師器、須恵器。
24	校舎建設	宮城県	岩出山城跡	岩出山町	確認調査	60	10月11日	調査担当、遺構・遺物の発見なし。
25	町道改良工事	小牛田町	的場遺跡	小牛田町	確認調査	30	10月7日	調査協力、遺構・遺物の発見なし。
26	市道改良工事	登米市	青島貝塚	登米市	確認調査	260	10月11日～10月12日	調査協力、遺構の発見なし。表土から縄文土器。
27	県営ほ場整備事業	古川地方振興事務所	新田柵跡	田尻町	確認調査	2,936	10月11日～11月18日	調査協力、古代、中世以降の溝跡、縄文晩期の土器、須恵器など。
28	県営ほ場整備事業	大河原地方振興事務所	車地蔵遺跡	蔵王町	発掘調査 確認調査	4,500	10月17日～12月2日	調査協力、掘立柱建物跡5棟、水場遺構1基、土壌、溝跡、ピットなど多数、17世紀の陶磁器、木製品、竹製品、石製品・古銭、土師器、須恵器など。
29	県営ほ場整備事業	古川地方振興事務所	長岡針・成田遺跡	小牛田町 古川市	確認調査	1,760	10月24日～10月26日	調査協力、古墳時代の溝跡6条、時期不明の遺跡、古墳時代の土師器など。
30	携帯電話無線基地局	エヌ・ティ・ティ・コム東北株式会社	徳ノ上A遺跡	七ヶ宿町	確認調査	53	11月2日	調査担当、遺構の発見なし。表土から縄文土器。
31	携帯電話無線基地局	株式会社ソニーデータフォ	西館館跡	柴田町	確認調査	60	11月10日	調査担当、時期不明の溝、ピット、土師器。
32	携帯電話無線基地局	株式会社ソニーデータフォ	音無A遺跡	川崎町	確認調査	40	11月17日	調査担当、遺構・遺物の発見なし。
33	町道改良工事	巨理町	臥牛城跡	巨理町	確認調査	200	12月5日	調査協力、古代の土壌、ピット。
34	配水池築造	南三陸町	牧野伊里前館跡	南三陸町	確認調査	20	2月13日	調査担当、遺構・遺跡の発見なし。
35	住宅建築	個人	横浦B遺跡	女川町	確認調査	10	3月1日	調査担当、遺構・遺跡の発見なし。
36	養鶏舎建築	個人	丸森山遺跡	登米市	確認調査	9	3月14日、15日	調査協力、縄文時代の遺物包含層・土壌・ピット。縄文中期の土器、石器、獣骨。
37	携帯電話無線基地局	株式会社ソニーデータフォ	牛飼遺跡	美里町	確認調査	30	3月17日・29日	調査担当、古代の掘立柱建物跡。

オ 報告書の刊行

刊行年月日	報告書名
2006 (平成18年3月)	宮城県文化財調査報告書第204集「中野高柳遺跡」
2006 (平成18年3月)	宮城県文化財調査報告書第205集「桃生城跡・細谷B遺跡」
2006 (平成18年3月)	宮城県文化財調査報告書第206集「角山遺跡・山居遺跡」
2006 (平成18年3月)	宮城県文化財調査報告書第207集「上楯城跡」
2006 (平成18年3月)	宮城県文化財調査報告書第208集「東山官衙遺跡周辺他」

(2) 文化財の保護

ア 史跡名勝天然記念物に対する現状変更件数については、次表のとおりである。(第8-4表参照)

イ 銃砲刀剣類の審査と登録

登録審査会を6回開催し、美術的価値のある銃砲刀剣類の登録を行った。(第8-5表参照)

第8-4表 史跡・名勝等の現状変更件数

種別	名称	年度				
		13	14	15	16	17
特別名勝	松島	144	137	131	118	88
特別史跡	多賀城跡附寺跡	11	12	10	9	9
その他		16	24	21	35	42
計		171	173	162	162	139

第8-5表

銃砲刀剣類の登録件数

種類	たち	刀	わきざし	短刀	剣	やり	なぎなた	長巻	火なわ式銃砲	管打式銃砲	ピン打式銃砲	計
件数	12	71	89	45	1	14	2	1	8	-	-	243

第8-6表

文化財の公開

展示会の名称	公開期間	公開会場
特別展 「古代の旅 - 人とももの通る道」	4.19～5.29	東北歴史博物館
特別展 「音と人の風景」	6.21～7.31	東北歴史博物館
特別展 「水辺と森と縄文人 - 低湿地遺跡の考古学 - 」	8.12～9.25	東北歴史博物館
特別展 「松島・天橋立・厳島 - 日本三景展」	10.25～11.27	東北歴史博物館
常設展 「民俗・民芸資料」「コレクション」「美術工芸・歴史資料」	通年	東北歴史博物館

3 文化財保護事業に対する助成等

(1) 国庫補助事業

本年度国庫補助事業として実施したものは次のとおりである。

第8 - 7表

平成17年度国庫補助事業

(単位：千円)

事業名	事業者名	総事業費	内 訳			
			国庫補助金	県補助金等	市町村費等	所有者負担金
大崎八幡宮長床屋根補修	大崎八幡宮	28,787	15,831	6,476	3,238	3,242
洞口家住宅附表門建造物保存修理	洞口京一	7,530	6,400	565	508	57
伊治城跡保存管理計画策定	栗原市	2,019	1,000	400	619	-
里浜貝塚保存管理計画策定	東松島市	3,013	1,500	600	913	-
山王困遺跡保存修理	栗原市	30,008	15,000	6,000	9,008	-
里浜貝塚保存修理	東松島市	30,936	15,000	6,000	9,936	-
仙台城跡保存修理(災害復旧)	仙台市	71,000	49,700	-	21,300	-
旧有備館及び庭園保存修理	岩出山町	4,008	2,004	801	1,203	-
仙台城跡保存修理	仙台市	11,800	5,900	-	5,900	-
市内遺跡発掘調査等	古川市	7,000	3,500	1,400	2,100	-
市内遺跡発掘調査等	仙台市	75,529	37,758	-	37,771	-
町内遺跡発掘調査等	加美町	1,818	900	360	558	-
市内遺跡発掘調査等	栗原市	3,000	1,500	600	900	-
市内遺跡発掘調査等	角田市	1,500	750	300	450	-
市内遺跡発掘調査等	多賀城市	12,002	6,000	1,800	4,202	-
町内遺跡発掘調査等	田尻町	3,500	1,750	700	1,050	-
三十三間堂官衙遺跡発掘調査等	亶理町	5,219	2,609	1,043	1,567	-
市内遺跡発掘調査等	東松島市	9,120	4,500	1,800	2,820	-
埋蔵文化財保存活用整備事業	多賀城市	79,200	39,600	600	39,000	-
埋蔵文化財保存活用整備事業	東松島市	5,022	2,500	1,000	1,522	-
市内遺跡出土遺物保存処理	多賀城市	4,000	2,000	800	1,200	-
多賀城跡附寺跡指定文化財管理	多賀城市	208	166	-	42	-
第52回日本伝統工芸展仙台展	日本伝統工芸展仙台展 実行委員会	2,903	1,496	-	-	1,407
文化財選定保存技術(石盤葺)伝承	佐々木信平	1,219	1,106	-	-	113
多賀城跡附寺跡買上げ(直接買上げ)	多賀城市	250,000	200,000	8,000	42,000	-
陸奥国分寺跡買上げ(直接買上げ)	仙台市	113,331	90,664	-	22,667	-
陸奥国分尼寺跡買上げ(直接買上げ)	仙台市	73,704	40,088	-	33,616	-
多賀城跡附寺跡買上げ (先行取得償還~7年度分)	多賀城市	44,850	35,880	4,485	4,485	-
陸奥国分寺跡買上げ (先行取得償還~15年度分)	仙台市	341,520	273,211	-	68,309	-
陸奥国分寺跡買上げ (先行取得償還16年度分)	仙台市	21,478	17,182	-	4,296	-
多賀城跡附寺跡保存修理	宮城県	15,738	7,869	7,869	-	-
カモシカ食害対策	宮城県	6,072	4,048	2,024	-	-
県内遺跡等発掘調査	宮城県	36,900	18,450	18,450	-	-
指定文化財管理	宮城県	4,608	2,304	2,304	-	-
計		1,308,542	908,166	74,377	321,180	4,819

(2) 史跡の環境整備事業

公有化した史跡が社会教育・学校教育などに有効に活用され、愛護されるためには、史跡の特性を十分に生かして復元するという適切な環境整備がなされなければならない。このことによってはじめて史跡の意義が理解され、広く県民に活用されるものである。平成17年度は、特別史跡多賀城跡附寺跡等の環境整備を行った。

(3) 史跡の公有化

県内には貴重な遺跡が多数存在している。その中でも特に重要な遺跡については、史跡として国指定を図り公有化を推進している。平成17年度は、前年度に引き続き特別史跡多賀

城跡附寺跡(多賀城市)及び史跡陸奥国分寺跡(仙台市)の公有化を実施した。

なお、公有化後は環境整備を行い史跡公園として一般に開放する。

(4) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業

南奥羽山系カモシカ保護地域におけるカモシカの生息動向・生息環境・食害発生状況などのカモシカ保護対策に関する特別調査を実施した。

(5) 県費補助事業

本年度県費補助事業として実施したものは、次のとおりである。

第8 - 8表

平成17年度県費補助事業

(単位：千円)

区分	事業名	事業主体	事業費総額	内 訳			
				県費補助金	市町村補助金	所有者負担	
有形文化財	県指定	陸奥国分寺薬師堂仁王門保存修理	陸奥国分寺	20,010	10,000	5,000	5,010
		旧小関家住宅屋根補修	白石市	4,861	1,868	2,993	-
		丈六阿弥陀如来坐像収蔵庫(保昌寺)屋根補修	保昌寺	2,458	983	702	773
		茂庭家霊屋屋根補修	石雲寺	4,210	2,105	1,052	1,053
		木造聖観音立像修理	成覚寺	3,150	1,575	787	788
史跡	国指定	旧有壁宿本陣防災設備改修	佐藤鐵太郎	1,241	620	414	207
天然記念物	県指定	新山神社の姥杉保護対策	新山神社	3,596	1,612	806	1,178
		賀茂神社のタラヨウ保護対策	賀茂神社	1,270	635	317	318
有形文化財 5件, 史跡 1件, 天然記念物 2件 計 8件			40,796	19,398	12,071	9,327	
無形文化財	国指定	精好仙台平技術養成	甲田 綏郎	347	160	100	87
	県指定	正藍染養成	千葉 よしの	560	160	100	300
		柳生心眼流甲冑術・甲冑柔術養成	新田柳心館	418	160	90	168
		日本刀鍛錬技術	宮城 眞一	359	160	-	199
無形民俗文化財	国指定	秋保の田植踊保持	湯元田植踊保存会	351	30	60	261
		秋保の田植踊保持	長袋の田植踊保存会	179	30	60	89
		秋保の田植踊保持	馬場の田植踊保存会	174	30	60	84
		小迫の延年保持	小迫延年保存会	247	30	180	37
		米川の水かぶり保持	米川の水かぶり保存会	451	30	108	313
		羽田のお山がけ保持	羽田神社総代会	165	30	22	113
		雄勝法印神楽保持	雄勝法印神楽保存会	255	30	50	175
		月浜のえんずのわり保持	えんずのわり保存会	129	30	-	99
	県指定	大崎八幡宮の能神楽保持	大崎八幡宮能神楽保存会	831	30	60	741
		愛子の田植踊保持	愛子の田植踊保存会	120	30	60	30
		大倉の役人田植踊保持	大倉の役人田植踊保存会	461	30	60	371
		新川の田植踊保持	新川田植踊保存会	172	30	60	82
		芋沢の田植踊保持	芋沢の田植踊保存会	130	30	60	40
		下倉の田植踊保持	下倉の田植踊保存会	199	30	60	109
		川前鹿踊・川前剣舞保持	川前の鹿踊剣舞保存会	193	30	60	103
		福岡の鹿踊・剣舞保持	福岡の鹿踊剣舞保存会	100	30	60	10
		滝原の顕拝保持	滝原の顕拝保存会	149	30	60	59
		上谷刈の鹿踊・剣舞保持	上谷刈鹿踊剣舞保存会	215	30	60	125
		鹽竈神社 藻塩焼神事保持	志波彦神社・鹽竈神社	537	30	-	507
		熊野堂神楽保持	熊野堂神楽保存会	115	30	36	49
		道祖神神楽保持	道祖神神楽保存会	234	30	36	168
		熊野堂舞楽保持	熊野堂神楽保存会	115	30	36	49
		富谷の田植踊保持	富谷田植踊保存会	71	30	47	-6
		金津の七夕保持	金津七夕保存会	367	30	50	287
		青葉の田植踊保持	青葉の田植踊保存会	90	30	30	30
		米倉鹿嶋神社の献饌行事	米倉鹿嶋神社氏子の会	150	30	-	120
		小野田の田植踊保持	小野田田植踊保存会	151	30	30	91
		中新田の虎舞保持	中新田火伏せの虎舞保存会	434	30	30	374
		薬業神社三輪流神楽保持	薬業神社三輪流神楽保存会	200	30	30	140
		柳沢の焼け八幡保持	柳沢若者講	137	30	21	86
		小泉の水祝儀保持	小泉契約講	74	30	21	23
		切込の裸カセドリ保持	切込誘和会	61	30	21	10
駒形根神社の巡幸神事保持	お駒様御巡幸保存会	60	30	-	30		

区分	事業名	事業主体	事業費総額	内 訳		
				県費補助金	市町村補助金	所有者負担
無形民俗文化財	一迫町鹿踊保持	真坂鹿踊保存会	116	30	20	66
	一迫町鹿踊保持	清水目鹿踊保存会	290	30	20	240
	登米能保持	登米謡曲会	1,101	30	80	991
	日高見流浅部法印神楽保持	日高見流浅部法印神楽保存会	167	30	25	112
	上町法印神楽保持	上町法印神楽保存会	299	30	-	269
	気仙沼市早稲谷の鹿踊保持	早稲谷鹿踊保存会	415	30	25	360
	新城の田植踊保持	新城の田植踊保存会	576	30	22	524
	廿一田植踊保持	廿一田植踊保存会	397	30	22	345
	入谷の祭りと打囃子保持	入谷の祭りや打囃子を伝承する会	71	30	-	41
	牡鹿法印神楽保持	牡鹿法印神楽古実会	150	30	18	102
	皿貝法印神楽保持	皿貝法印神楽保存会	121	30	25	66
	名振のおめつき保持	雄勝町名振秋葉神社氏子会	464	30	25	409
	寺崎の法印神楽保持	寺崎の法印神楽保存会	575	30	30	515
	榎崎法印神楽保持	桃生町榎崎法印神楽保存会	244	30	30	184
江島法印神楽保持	江島法印神楽会	214	30	140	44	
無形文化財 4件, 無形民俗文化財 48件 計 52件			14,201	2,080	2,300	9,821

第2節 東北歴史博物館

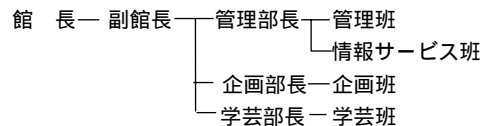
1 概要

東北歴史博物館は、宮城の地を拠点に東北全体の歴史及び文化を総合的にとらえ、その特色を世界に発信することを目的とした人文系博物館であり、誰もが気軽に学ぶことができる施設である。

開館7年目の平成17年度は、入館者数も累計90万人を超え、地域の期待に応えるために、企画展示活動、教育普及活動、歴史資料収集管理及び調査研究などの主要事業を積極的に行なった。

2 組織と予算

(1) 組織



(2) 予算

項目	金額(千円)
管理経費	413,841
企画展示費	36,696
教育普及費	1,643
調査研究費	7,874
資料管理費	6,224
合計	466,278

3 事業

(1) 企画展示事業

ア 常設展示

総合展示室において、約3万年前の後期旧石器時代から1965(昭和40)年頃までの東北地方全体の歴史及び文化について、庶民の視点を重視しながらそれぞれの時代を特色づけるテーマを取り上げた課題展示を行っている。重要文化財を含む実物資料約1400点の展示及び当時の様子を復元したジオラマ、イラストや地図・写真を使ったパネル、レーザーディスク等の映像装置、解説文パネルを適宜配置して分かりやすい

展示を目指している。

テーマ展示室において、展示室1で「杉山コレクション 古墳時代関係資料」「柄鏡の世界」を、展示室2で「染めの型紙」「骨角器-田柄貝塚と里浜貝塚」を展示した。また、展示室3では「近世禅僧の芸術-高僧達の墨跡」をはじめ7回の展示替えを行なった。

イ 特別展示

・特別展「古代の旅-人との通る道」を開催した。

会 期：平成17年4月19日～5月29日

刊行物：特別展図録「古代の旅-人との通る道」

小学生向け展示案内リーフ(4p)

関連行事：講演会「古代の東の道を行き交う人々

- 発掘された文字が語る -」

講 師 大学共同利用機関法人

人間文化研究機構理事 平川 南 氏

期 日 平成17年4月29日

観覧者：5,722人

その他：本展の一部を国土交通省東北地方整備局道路資料館「古代の道」展へ巡回

・特別展「音と人の風景」を開催した。

会 期：平成17年6月21日～7月31日

刊行物：特別展図録「音と人の風景」

関連行事：・講演会「音が結ぶ神と人々

- 美保神社の奉納鳴物を中心として -」

講 師 美保神社宮司 横山 直材 氏

期 日 平成17年6月26日

・雅楽演奏会

演奏者 宮城野雅楽会、雅楽道友会

期 日 平成17年7月24日

観覧者：3,570人

・巡回特別展「水辺と森と縄文人-低湿地遺跡の考古学-」を開催した。

会 期：平成17年8月12日～9月25日

刊行物：特別展共通図録「水辺と森と縄文人」

小学生向け展示案内リーフ（４p）

関連行事：・講演会「縄文文化の水準」

講師 國學院大學教授・新潟県立歴史博物館
館長 小林 達雄 氏

期 日 平成 17 年 8 月 28 日

・体験教室（丸木舟にのってみよう）

期 日 8/21・9/4・9/11・9/19

観覧者：4,230 人

・巡回特別展「 - 松島・天橋立・巖島 - 日本三景展」を開催した。

会 期：平成 17 年 10 月 25 日～11 月 27 日

刊行物：特別展共通図録「 - 松島・天橋立・巖島 - 日本三景展」

関連事業：・講演会「日本三景への誘い」

講師 多摩美術大学教授 島尾 新 氏

期 日 平成 17 年 11 月 6 日

・フォトギャラリーの開催

公募した日本三景をモチーフとした写真のうち、優秀作品 28 点を展示

観覧者：4,261 人

(2) 教育普及事業

ア こども歴史館の運営

利用者数 29,038人（小・中学校・高校の利用数 延べ281校）

イ 図書情報室の運営 利用者数 9,617人

ウ 今野家住宅の運営 利用者数 24,720人

エ 講座等の行事

行事名	回数	参加数 (人)	備 考
館長講座	20	3,840	テーマ：「古代蝦夷」 月2回開催
博物館講座	14	614	古文書、史料購読、VTRライブ
体験教室	10	142	くらしのわざ、大昔の技術
ギャラリートーク	42	600	週1回水曜日、学芸職員
多賀城跡巡り	14	210	月2回（4月～11月）
民話を聞く会	3	156	多賀城民話の会と共催
まるかじり博物館	1	2,442	各種体験企画に参加できる（無料）
博物館開放講座	4	186	テーマ：「食の風景・その歴史と文化」

オ 広報と刊行物

『東北歴史博物館 平成16年度年報』

『東北歴史博物館研究紀要 7』

『東北地方の信仰伝承 - 宮城県の年中行事 - 』

『とうほくれきはくニュース 第7号』

『催事カレンダー（4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～3月）』

(3) 調査研究事業

東北地方の歴史・文化に関する考古資料・文書資料・民俗資料・美術工芸資料及び建造物資料について調査研究を行い、その成果を調査報告書・展示解説書等の刊行物を通じて公表した。

ア 考古資料の調査研究

寄贈された楠本コレクション・杉山コレクションの資料を対象として実施した。うち、楠本コレクションについては、追加の寄贈資料を受け、登録・整理を継続中である。杉山コレクションについては、昨年度に引き続き埴輪の実測など詳細な調査を継続した。

イ 民俗資料の調査研究

寄贈資料の調査及び館蔵資料の整理を行った。また、東北地方信仰伝承の調査研究（5カ年計画2年次）として宮城郡及び牡鹿郡の補足調査を実施し、調査報告書を刊行した。

ウ 文書資料の調査研究

購入・寄贈・移管された多量の文書の基礎的整理、県図書館から移管された文書のマイクロフィルム及び旧仙台藩領を

中心とした城下町と村絵図の研究（成果をCD-ROM版にまとめ刊行）を行った。

エ 美術工芸資料の調査研究

館蔵している仙台藩にゆかりのある画家達の作品調査を行った。また、仏教文化・美術に関する調査研究として、中尊寺・熊野神社などの信仰拠点の悉皆調査を行った。

オ 建造物資料の調査研究

県内市町村からの依頼による建造物調査のほか、近代建築資料調査としてハリスト正教会に関連する建築資料調査を行った。

(4) 資料管理事業

ア 実物収集

当館では、考古・民俗・文書・美術工芸・建築・歴史の各資料分野にわたって、7万件を超える実物資料を収蔵している。平成17年度の購入資料としては、国鉄東北支社管内鳥瞰図1点、大條氏関係文書7点等がある。

寄贈資料としては、宮崎家文書148点、吉岡家文書820点等がある。

イ 写真資料

収蔵実物資料を撮影したもの等を中心とした写真資料についてフィルムやプリントの形態で約6万件を収蔵している。

ウ 図書資料

平成17年度の登録総数は、3,752点で、所蔵している図書資料の総数は、86,000点となった。なお、所蔵図書資料の目録は、インターネットの当館ホームページで公開している。

エ 資料の貸出、閲覧、撮影、借用等

実物資料については、展示や資料の調査等を目的に43件1,051点の館外貸出を行った。また、写真資料の貸出（掲載）・再掲載が78件あった。

オ 資料管理

絵画資料のうち、菅井梅閑筆「梅花小禽図」（一幅）の修復を行った。また、古文書については、石母田家文書のうち、破損の著しい70点を対象に裏打ちなどの修復を行った。

カ 科学的保存処理

県内の遺跡から出土した脆弱な資料について、「埋蔵文化財出土遺物の保存処理」として国庫補助を受け、山王遺跡・市川橋遺跡等から出土した木製品53点、新田遺跡・多賀城跡等から出土した金属製品75点の保存処理を実施した。

キ 保存環境管理・調査

資料の保存処理及び収蔵庫・展示室の保存環境に関する調査・研究を行い、資料の保全に努めた。また、収蔵庫内の木質から発生する酸・アルカリなどの成分が資料に与える影響について継続的に調査を実施している。このほか、歴史資料の虫や黴の被害対策として実態を調査し、燻蒸消毒を行った。

平成17年度東北歴史博物館入館者数

月区分	開館日数	入館者数（人）
4月	26	10,660
5月	26	9,697
6月	26	13,868
7月	28	8,203
8月	27	7,291
9月	27	10,057
10月	27	7,600
11月	26	8,683
12月	16	1,759
1月	24	2,673
2月	24	3,115
3月	27	3,516
計	304	87,122

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

多賀城跡は奈良・平安時代に陸奥国の国府が置かれ、奈良時代には鎮守府も併置されていた役所の跡である。規模は約900m四方で、多賀城市市川のほぼ全域と浮島の一部に及んでいる。また、多賀城跡の南東約1.2kmの多賀城市高崎には多賀城の付属寺院である多賀城廃寺跡がある。これらは大正11年に史跡に指定され、さらに昭和41年には特別史跡に昇格指定された。昭和30年代後半からの急激な諸開発の波は多賀城跡の周辺にも及び、平城宮跡や大宰府跡と並んで国の三大史跡とされるほどの重要な文化遺産である多賀城跡も破壊されてしまう恐れが生じてきた。そこで、宮城県教育委員会は昭和44年4月に宮城県多賀城跡調査研究所を設置し、多賀城跡の解明と保存を目的とする発掘調査、およびその成果に基づく環境整備とを計画的に実施することにした。

1 事業内容と目的

当研究所の事業内容と目的は以下のとおりである。

(1) 多賀城跡発掘調査事業

特別史跡多賀城跡附寺跡の発掘調査を実施し、古代の多賀城の実態を解明し、あわせて環境整備のための資料を得る。

(2) 多賀城跡環境整備事業

発掘調査の成果をもとに多賀城跡附寺跡の遺構について、保存措置を講じるとともに、復元表示などの環境整備を行い、歴史公園として一般に公開する。

(3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

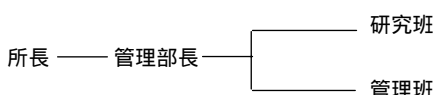
古代の多賀城に関連する県内の遺跡の発掘調査を実施して、多賀城を中心に展開された東北の古代史を多角的に解明する。

(4) 遺構調査研究事業

古代の城柵官衙遺跡についての資料を全国的な視野で収集し、調査研究する。

2 組織・予算

(1) 組織



なお、当研究所では第8 - 9表の学識経験者からなる多賀城跡調査研究委員会を組織し、その指導・助言を得ながら各事業の推進を図っている。

第8 - 9表 多賀城跡調査研究委員会委員名簿

氏名	職	専門分野
委員長 須藤 隆	東北大学大学院教授	考古学
副委員長 今泉 隆雄	東北大学大学院教授	古代史学
委員 飯淵 康一	東北大学大学院教授	建築史学
" 井手 久登	東京大学名誉教授	緑地学
" 進藤 秋輝	前東北歴史博物館副館長	考古学
" 佐藤 信	東京大学大学院教授	古代史学
" 田辺 征夫	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所長	考古学
" 近江 隆	東北大学大学院教授	都市工学
" 平川 南	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館長	古代史学
" 進士五十八	東京農業大学教授	造園学

(2) 予算

ア 多賀城跡発掘調査事業費 23,730千円

イ 多賀城跡環境整備事業費	15,738千円
ウ 多賀城関連遺跡発掘調査事業費	5,932千円
(以上, 50%国庫補助事業)	
エ 遺構調査研究費	225千円
オ 管理費	596千円

3 平成17年度事業の概要

(1) 多賀城跡発掘調査事業

平成17年度は多賀城跡発掘調査第8次5カ年計画の2年度にあたり、政庁地区において第77次調査を実施した。発掘調査面積は合計970㎡、調査期間は平成17年5月11日～平成17年11月30日である。総事業費は23,730千円(50%国庫補助)である。

ア 第77次調査の目的

第77次調査は今後行われる環境整備事業に先立ち、過去の調査結果を補強、再検討することを主目的に多賀城政庁跡の東楼地区、西脇殿地区、政庁南面地区の3地区を対象に実施した。

イ 第77次調査の成果

政庁の主要殿舎である東楼、西脇殿の調査では、政庁遺構期第1期以降の殿舎の変遷に関して重要な成果を得た。

東楼については、礎石根固め石、掘え穴の再検討の結果、東楼造営時期が政庁遺構期の第1期に遡ると考えられた。

西脇殿については、第1期西脇殿の縁・廂が新たに発見されたことで、東西脇殿の対称性が維持されたことを確認すると同時に、第2期西脇殿も同位置に存在した可能性が高いことも確認した。

政庁南面地区では、整地層が3層に大別され、最下層の整地Aはこれまで通り政庁造成に伴う第1次整地層と考えられたが、整地Bは第1期以降、整地Cは第2期以降と、それぞれ異なる時期の整地層であり、政庁南面の平坦地が南へ拡張する形で段階的に造成されたことを確認した。

ウ 第77次調査の意義

第77次調査の成果として、東楼地区、西脇殿地区、政庁南面地区について新たな知見を得た。これらは、史跡案内板や、多賀城跡環境整備事業第8次5カ年計画の4・5年次(平成20・21年度)に予定している政庁地区再整備に盛り込まれる予定である。

(2) 多賀城跡環境整備事業

平成17年度は第8次5カ年計画の初年度にあたり、特別史跡内の史跡案内板および標柱の整備を実施した。本年度の対象地域は特別史跡内整備済み地区のほぼ全域にあたる。総事業費は15,738千円(国庫補助50%)である。

史跡案内板基礎部設置工事及び史跡案内板表示部製作工事 南門地区、城前地区、政庁地区(北側)の3か所。

標柱基礎部設置工事及び標柱表示部製作工事 南門地区、城前地区、政庁地区(北側)、作貫地区(南北2か所)、大畑地区、東門地区、六月坂地区、外郭東北隅、外郭南東隅の10か所。

既設道標整備 周辺環境の変化にともない、表示内容の変更を余儀なくされた道標の表示板の整備。

既設解説板整備 損耗した解説板の表示板の制作、およびその表示フレームのペンキ塗り直し。

(3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

平成17年度は第7次5カ年計画の2年度にあたり、遠田郡

